

経営比較分析表（令和5年度決算）

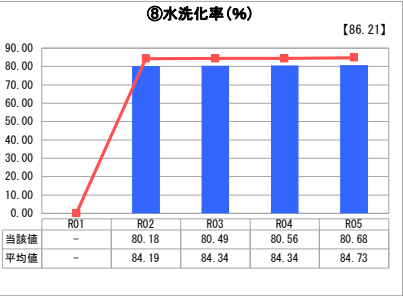
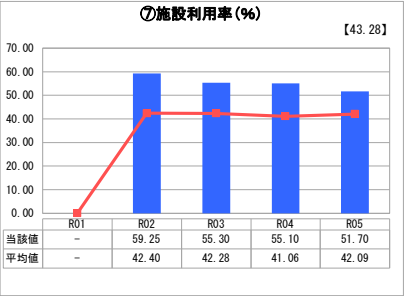
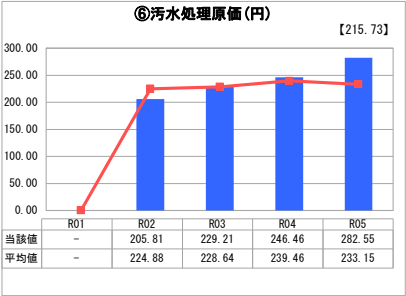
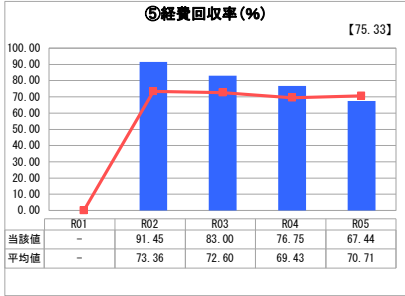
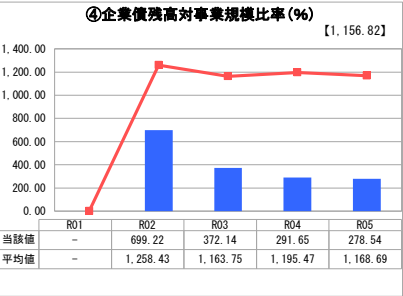
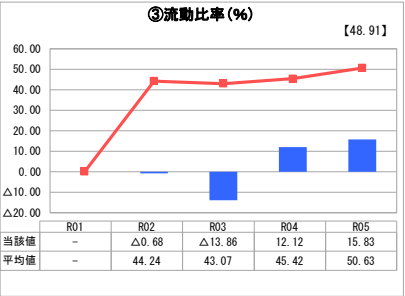
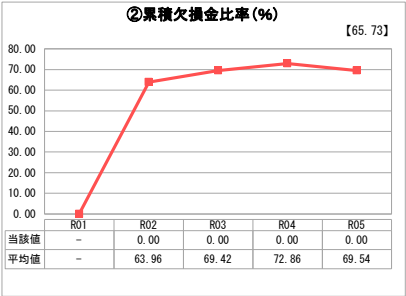
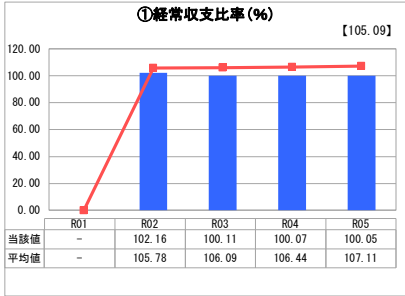
岐阜県 恵那市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.82	25.16	88.62	3,795

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,868	504.24	92.95
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,685	4.87	2,399.38

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

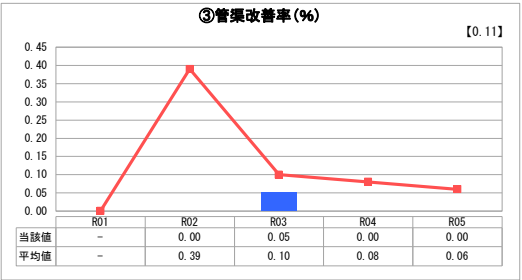
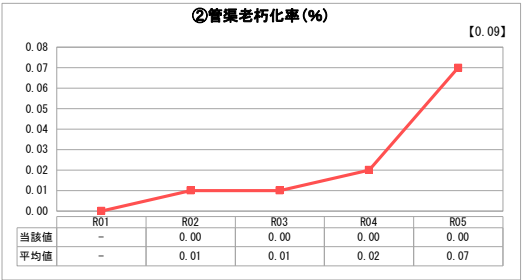
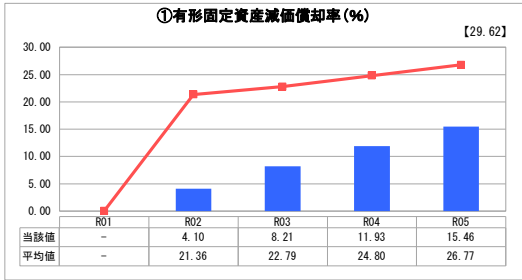
1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法を適用しているため、令和元年度までの数値が反映されていない。経常収支比率は、一般会計繰入金のほか、経費削減の取り組みにより100%以上を確保出来ている。今後も収入確保のため検討分析が必要である。流動比率は、R4年度からセグメント毎に現金預金を振替えるよう変更している。その他、流動負債のほとんどが企業債償還金であり、一般会計の繰入と合わせ支払い能力には問題ないとする。企業債残高対事業規模比率は、比率が低いので地方債の借入には、投資規模・収益の適正を検討しながら進めていく。経費回収率、汚水処理原価は、包括委託の更新により処理場費が増加し、回収率は平均値を下回り、処理原価は上回った。施設利用率及び水洗化率は、面の整備が概成し利用率は平均値を上回っている。水洗化率も徐々に増加している。今後は、適正な使用料収入の確保と水洗化率の増加を促進するため、未接続世帯への戸別訪問などを重点的に行う。以上から、経営の健全性・効率性を求めるため、今後は施設統合も視野に入れ、さらなる経費削減に努める。また、今後も一般会計繰出金の負担を軽減するよう経費削減や収益確保等、経営の安定化に向けての検討をする必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を下回っており、管渠老朽化率も耐用年数内であるため0%だが、数年以内に耐用年数を迎える管渠の増加が見込まれるため、ストックマネジメント計画に基づき計画的に管路改築を行う。これとは別に、一部処理区の管渠では劣化が進行し有収率も他処理区より低いため、不明水対策として調査及び対策工事を実施しており、今後も継続し管渠の更新等を行う予定としている。

2. 老朽化の状況



全体総括

当市の人口は減少傾向が続いており、節水型設備の普及や不明水により、有収水量も減少傾向である。今後は投資の効率化や維持管理費の削減、不明水対策のほか接続率の向上による有収水量を増加させる取組など経営改善を検討する必要がある。また、国庫補助事業活用や交付税措置の有利な起債を発行するなど、適切な財源確保に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。